



広報ざいだん

2018年 (H30) 8月 No.11

公益財団法人 茄子川地域振興財団 中津川市茄子川1317-4 TEL0573-68-5655

「ごあいさつ」

稲田のみどりも日増しに輝き、稲をわたるさわやかな風が心地よく感ずるこの頃であります。

新公益財団法人茄子川地域振興財団として船出し、5年の節目を経て6年目を迎えました。これもひとえに、地域の皆様方の温かいご支援、ご協力のお陰と感謝御礼申し上げます。

この度、理事の任期満了に伴い、5月の定時評議員会において新理事が選任され、新役員体制での財団運営がスタートしました。

ご案内のとおり、財団の目的は、公益目的事業を継続的かつ堅実に推進することにより、地域の振興発展を図ることにあります。そのために、役員、職員の資質の向上を図りながら、法令を遵守し「経理的基礎」「技術的能力」を備え、情報開示と相俟って透明性をも高めながら、信頼を築いて参ります。

さて国家的プロジェクトのリニア中央新幹線事業に係る坂本地域の事業の中にあつて、中津川市と締結した「リニアまちづくり開発協定」に基づく、西部テクノパーク事業（工業団地建設）の取り組みは、いよいよこれから具体的な事業展開となってきます。

この事業は、中津川市及び地域の将来を担う極めて重要な大事業であります。少子化、高齢化、過疎化は避けて通れない社会問題です。そこで、財団ではこの地域の少子高齢化を少しでも和らげる施策に取り組んでおります。

それは、財団と地方公共団体（中津川市）が進めている西部テクノパーク事業であります。

これは地域の将来の命運が懸かっていると考えます。この事業は、地域の活性化に繋がる若者の働く場、定住の場等、地域将来のため、私たちのための事業であります。

この事業の推進のため新体制役員一同、地域の皆様のご意見を賜りながら取り組んでまいり所存であります。

今度ともご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

平成30年8月

公益財団法人 茄子川地域振興財団

理事長 勝 佳 朗



みどりに輝く稲田（源根里山の潤い）

平成30年度主要事業計画について

茄子川財団は「民力」を生かすことの出来る公益財団法人で、平成25年4月1日新法に基づく公益団体として県の認定を取得して設立され、「地域づくり、地域の振興発展等」に関する事業を「民による公益活動」を行うことを目的とした財団であります。

財団の公益目的事業は「里山活用事業」と「地域振興発展のための定住化に関する事業」が柱であります。

主要事業への取り組み計画

●定款に定める公益目的事業の推進

(ア) 里山活用事業

- ・高齢者福祉、健康推進事業
- ・里山体験学習等事業

(イ) 地域の振興発展のための定住化に関する事業

(ウ) 地域振興、定住化等に係る地域振興助成事業

(エ) 本財団の目的を達成するために必要な(地域振興)事業

●西部テクノパーク事業の取り組み

(ア) 中津川市との協定に基づき、積極的に協力、支援

(イ) 事業用地に係る財団の基本財産処分については、交換方式として、関係機関と協議しながら、理事会、評議員会へ詳らかな報告

政策〈公益目的事業〉と実践〈公益目的比率等〉の継続性の取り組み

- ・法令の遵守、不特定多数の者の利益、低廉価格、経理的基礎、技術能力の向上
- ・役員及び職員の公益法人運営研修会等への参加

●地域に開かれ、親しまれ誇れる財団づくりの取り組み

広報「ざいだん」発行、情報公開、新聞社等への情報提供、ホームページの開設等



評議員会 議場

地域の振興発展に関する取り組み計画

定住化事業に伴う土地有効活用では、低廉価格にて住宅用地として貸与し、茄子川地域への定住化を促進することにより、人口増加を図り併せて地域の振興発展と活性化を促進します。

また、安心して住める地域づくりとして、生活基盤整備、生活まわり環境整備を進めながら、地域社会の健全な発展に寄与する事業を行います。

(1) 定住化団地内の生活基盤整備事業の推進

(側溝、道路の舗装、改修、危険箇所の調査委託等)

(2) 定住化団地内の公道の市道認定のため、財団所有地を中津川市への寄付等

(3) 定住化事業促進に関連する(魅力ある地域づくり)地域生活環境整備の助成事業の推進

(地域集会所等建設、改築、下水道整備、ごみ・不燃物集積場、交通安全施設整備、生活、農業用水路整備、文化財の保護、お祭り、伝統文化、児童公園、交流事業等)

(4) 定住化促進事業に伴う賃貸住宅用地の確認実測事務と土地管理台帳の整備(定住化計画)システムの充実

(5) 中津川市まちづくりビジョンを受けて、将来の茄子川地域の振興発展のために財団の有する資産の有効活用について、中津川市と協議しながら若者の定住化、雇用の場、活性化等に資する定住化の具体的施策を推進します。



美坂住宅用団地風景
(定住化促進事業)

地域環境と住民ニーズを尊重しながら、財団の透明性を高めます。

財政状況の公表

平成29年度決算に伴う貸借対照表を公表いたします。

決 算 公 告			科 目		金 額
平成30年 6月1日			流 動 負 債		13,380
公益財団法人 茄子川地域振興財団			固 定 資 産		100
貸 借 対 照 表 の 要 旨			負 債 合 計		13,480
(平成30年 3月31日現在)			指 定 正 味 財 産		213,545
(単位：千円)			一 般 正 味 財 産		152,372
			正 味 財 産 合 計		365,917
			合 計		379,397



財団玄関◆◆

平成29年度決算に伴う財務三基準の公表

公益目的事業比率

公益目的事業比率	66%実施
----------	-------

収支相償

(単位：千円)				
公益目的事業区分	経常収益計	経常費用計	差引額	要件
里山活用事業	2,742	15,835	△13,093	充足
地域振興のための定住化事業	13,547	25,499	△11,952	充足

遊休財産額

(単位：千円)			
遊休財産の保有上限額	38,814	当財団の遊休財産額	6,165

財団では、公益財団法人として法律の定める財務基準をクリアすることが絶対要件です。

○公益目的事業比率とは

毎事業年度における公益目的事業比率が100分の50以上となるように公益事業を行わなければならないこと。

○収支相償とは

公益目的事業に係る収入が当該事業の実施に要する適正な費用を償う額を超える収入を得てはならない。概には、収入が支出を上回ることはいけないこと。

○遊休財産額の保有制限とは

内部留保額の中で、公益財団法人は公益目的事業に必要な資金を有することは認められますが、業務や活動に使用されない多額の貯蓄（たぐわえ）を持つてはいけないことの制限額のこと。

平成29年度地域振興助成額一覧表

地域振興及び定住化促進等のための助成実績を報告いたします。

(単位：千円)

団 体 名	事 業 名	助 成 額
3区 広久手組	広久手組集会所下水・水洗化工事	900千円
3区 広久手組	広久手組集会所ゴミステーション新設工事	200千円
2区 青木組	青木組集会所屋根瓦修繕工事	42千円
8区 二軒家	二軒家クラブトイレ改修工事	471千円
二美区 二子塚	二美区二子塚クラブの危険階段の安全施設処置	64千円
大堤水利組合	茄子川大池用水路改修及び堤体整備 3期工事	280千円
5区 深沢組	深沢集会所下水・水洗化工事	1,750千円
明光保水利組合	農業用水路改良工事	78千円
6区中切中井湯水利組合	水門用スピンドル交換工事	12千円
坂本5区	交通安全人形等の設置事業	199千円
ハード事業10件		3,996千円
睦会（8区）	地域老人会交流事業	60千円
こぶし会（曙区）	地域老人会交流事業	62千円
中部老人会	地域老人会交流事業	82千円
若気会（1区・2区）	地域老人会交流事業	76千円
高砂会（7区）	地域老人会交流事業	61千円
桜寿会（6区）	地域老人会交流事業	59千円
坂本マレットゴルフ愛好会	地域老人スポーツ事業	100千円
諏訪獅子保存会	地域交流事業	50千円
諏訪神社	地域交流事業	500千円
ソフト事業9件		1,050千円
助成事業合計19件		5,046千円



3区広久手組集会所下水・水洗化事業 (助成事業)



二子塚クラブ危険階段の安全施設処置 (助成事業)



3区広久手組集会所ゴミステーション新設工事 (助成事業)



坂本5区地内交通安全人形設置事業 (助成事業)



美坂住宅用地内よう壁改修事業 (定住化推進事業)

平成29年度里山活用事業材料助成額

(単位：円)

団 体 名	事 業 名	助成額
中津川工業高等学校	実習用木材提供	194,400

新体制の理事及び監事、評議員の紹介

平成30年5月開催の定時評議員会において、新理事が選任されました。任期は2年間です。
なお、評議員についても欠員補充の選任がされました。

理 事

氏 名	常勤・非常勤	役職名
勝 佳 朗	非常勤	理 事 長
原 田 幸 久	〃	副理事長(兼)土地委員長
篠 原 忠 夫	〃	業務執行理事(兼)山林委員長
水 野 幸 雄	〃	庶 務 委 員 長
新 田 勝	〃	山 林 委 員
新 田 重 典	〃	〃
西 尾 善 光	〃	〃
田 中 孝 一	〃	土 地 委 員
小 椋 幹 雄	〃	〃

任期：平成32年5月 定時評議員会まで

監 事

氏 名	常勤・非常勤	役職名
渡 辺 岩 男	非常勤	代 表 監 事
中 川 征 児	〃	
小 幡 勉	〃	

任期：平成32年5月 定時評議員会まで

事務局

氏 名	常勤・非常勤	役職名
田 立 三 博	常 勤	事 務 局 長
田 口 晴 子	〃	事 務 職 員

評議員

氏 名	常勤・非常勤	役職名
西 尾 規 良	非常勤	議 長
橋 詰 佳 治	〃	評 議 員
田 中 薫	〃	〃
可 知 伸 武	〃	〃
小 栗 信 夫	〃	〃
本 田 欽 一	〃	〃
田 立 正 司	〃	〃
新 田 正 己	〃	〃
濱 中 広 幸	〃	〃
竹 内 博	〃	〃
田 口 勇 夫	〃	〃
宮 田 治 常	〃	〃
幸 脇 聡	〃	〃
林 勝 利	〃	〃
野 崎 修 造	〃	〃
勝 忠 春	〃	〃
田 口 充 和	〃	〃

任期：平成33年5月 定時評議員会まで

里山の植物 シリーズ No.7

里山「源根の森」にある、めずらしい植物をご紹介します。



ベニドウダン(紅満天星)

ツツジ科ドウダンツツジ属で山地の岩尾根に生える落葉低木です。

花期は、5月中旬から6月下旬。

枝先に長さ3～4cmの総状花序をつけ、5～8個の花が3～8mmの花柄の先端に下垂してつきます。

ちなみにサラサドウダンは、中津川市の花(市の花)です。



『里山の植物』を毎回シリーズでご紹介します。